

立教大学の日本語教育

1. 日本語教育センター (CJLE)

- (1) 立教大学は、留学生の日本語教育を強化するために 2011年に日本語教育センターを開設しました。立教大学の日本語科目は、日本語教育センターによって運営されています。

2. CJLEの日本語教育

- (1) CJLEの日本語教育は、たんに日本語の知識を得ることではなく、それらの知識を「正しい日本語で、スムーズに、正しく使いこなす能力を磨くこと」を目標としています。そのため、正しい日本語を使えていない、瞬時に答えられない、過去に勉強したことがあるが忘れてしまっている場合は、希望するレベルではないクラスに決定するかもしれません。しかし、決定したクラスで真剣に日本語の学習に取り組んでみてください。格段に日本語能力が向上するはずです。

Japanese Language Education at Rikkyo

1. Center for Japanese Language Education (CJLE)

- (1) Rikkyo University established the Center for Japanese Language Education (CJLE) in 2011 to enhance the Japanese language education for all the international students who study at Rikkyo. The Rikkyo Japanese language course is offered by the CJLE.

2. CJLE Japanese language course

- (1) The Japanese language course offered by the CJLE is designed to provide students with language proficiency in Japanese attained in a natural and balanced context. Therefore, if you were unable to use Japanese appropriately and smoothly or forgot the knowledge acquired in the past, you might be placed in a level not desirable for you. However, when you work hard in the classes in which you have been placed, your proficiency will improve rapidly.

日本語科目の授業

1. 学期

- (1) 本学の授業は1年を2学期に分けて行われます。それぞれを春学期、秋学期と呼びます。
- (2) 本年度の各学期の授業開始日は下記のとおりです。
春学期：4月10日（水）
秋学期：9月20日（金）

2. 授業時間

- (1) 授業時間は下記のとおりです。

時 限	1	2	3	4	5
授業時間	8 : 5 0 ∟ 1 0 : 3 0	1 0 : 4 5 ∟ 1 2 : 2 5	1 3 : 2 5 ∟ 1 5 : 0 5	1 5 : 2 0 ∟ 1 7 : 0 0	1 7 : 1 0 ∟ 1 8 : 5 0

3. 休 講

- (1) 日本語科目では原則として休講はありません。
- (2) 休講がある場合は、掲示板（インフォメーションボード）に表示します。
<掲示板（インフォメーションボード）設置場所>

池袋キャンパス	新座キャンパス
5号館1階／8号館1階／ 14号館1階	1号館1階／4号館2階

- (3) 休講は、ホームページからも確認することができます。
日本語 <http://kyomu.ic.rikkyo.ne.jp/kyuko/CancelK.aspx>
英 語 <http://wwwj.rikkyo.ac.jp/kyomubu/cancel/CancelE.aspx>
＊日本語科目の休講を表示するには、COLLEGEのプルダウンメニューからOTHERを選択してください。
- (4) 休講の掲示がないにもかかわらず、授業開始時間から30分以上経過しても日本語担当教員が入室しない場合は、日本語教育センター事務局（池袋キャンパス：マキムホール1階国際センター内、新座キャンパス：7号館2階国際センター内）に連絡してください。
- (5) 大規模地震の警戒宣言が発令された場合、台風の接近が予想される場合の休講の措置は21ページを参照してください。

4. 授業の欠席

- (1) 本学では、学校感染症第1種・2種により出校停止となった場合のみ、所定の申請手続きを行えば欠席扱いとはしません。その他の理由で授業に出席しない場合は欠席となります。（いわゆる公欠制度は設けていません。）

- (2) 学校感染症第1種・第2種にかかった場合は大学に来てはいけません。すみやかに下記に連絡し、指示を受けてください。

特別外国人学生の連絡先	
国際センター	
電話	03-3985-2208 メール rikkyo-inbound@rikkyo.ac.jp

正規学生の連絡先は、所属する学部・研究科の履修要項を参照してください。

<対象となる学校感染症第1種・第2種>

	疾患名
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS コロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MERS コロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ
第2種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふく）、風しん、水痘（水ぼうそう）、喉頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

5. 補講

- (1) J8以外の日本語科目については補講をおこないません。

6. 授業でのマナー

- 遅刻や欠席をしてはいけません。
- あらかじめ遅刻、早退、欠席することがわかっている場合は、事前に担当教員に伝えてください。当日になって遅刻、早退、欠席しなくてはならなくなった場合は、クラスメイトに先生への連絡を依頼するか、担当教員にメールにより連絡してください。
- 携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- 授業中にものを食べてはいけません。
- 教室の中では、日本語だけで話しましょう。

Japanese Language Courses

1. Course period

- (1) Courses are offered in two periods: Spring semester and Fall semester.
- (2) Each semester starts on the date below.
 Spring semester : April 10 (Wed), 2019
 Fall semester : September 20 (Fri), 2019

2. Class schedule

Period	1	2	3	4	5
Time	8:50 am to 10:30 am	10:45 am to 12:25 pm	1:25 pm to 3:05 pm	3:20 pm to 5:00 pm	5:10 pm to 6: 50pm

3. Class cancellations

- (1) Generally, there will not be any class cancellations for Japanese language courses.
- (2) If there are cancellations, they will be displayed on the notice board (information board) below.

<Notice boards (information board) locations>

Ikebukuro Campus	Niiza Campus
Building No.5, 1 st floor Building No.8, 1 st floor Building No.14, 1 st floor	Building No.1, 1 st floor Building No.4, 2 nd floor

- (3) Class cancellation notifications are also posted on the web page below.(intranet)

Japanese <http://kyomu.ic.rikkyo.ne.jp/kyuko/CancelK.aspx>

English <http://wwwj.rikkyo.ac.jp/kyomubu/cancel/CancelE.aspx>

* Choose "OTHER" from the drop-down list to show class cancellations for Japanese language courses.

- (4) You should contact the office below if an instructor of a Japanese language course is more than 30 minutes late.

Ikebukuro Campus	Niiza Campus
CJLE Office in the International Office McKim Hall, 1 st floor	CJLE Office in the International Office Building No.7, 2 nd floor

- (5) In regards to class cancellation, in the event that a major earthquake warning alert has been issued or an approaching typhoon warning is announced, refer to page 22.

4. Class absences

- (1) You may not be exempted from attending classes except in the case you have contracted a disease designated by the school to be infectious (Class 1 or Class 2) and follow prescribed procedure. (**There is no other system of “authorized absence”.**)
- (2) In the event that you have contracted a disease designated under the School Health Law as a Class 1 or Class 2 school infectious disease, you must not visit the university campus and immediately contact the International Office.

Contact information for Special International Students
International Office Ph.: 03-3985-2208 E-mail: rikkyo-inbound@rikkyo.ac.jp

Regular students should consult their administration office for academic matters.

<Applicable Class 1 and Class 2 designated school infectious diseases>

	Disease
Class 1	Ebola hemorrhagic fever, Crimean-Congo hemorrhagic fever, smallpox, South American hemorrhagic fever, plague, Marburg virus, Lassa fever, poliomyelitis, diphtheria, Severe Acute Respiratory Syndrome (SARS), Middle East Respiratory Syndrome (MERS), Specific Avian influenza
Class 2	Influenza (excluding Specific Avian influenza), whooping cough, measles, epidemic parotitis virus (mumps), rubella, chicken pox, pharyngoconjunctivitis, tuberculosis, meningococcal meningitis

5. Makeup Classes

- (1) Makeup classes are not held for Japanese language courses. (Except J8)

6. Class protocols

- (1) You are required to be on time to classes. You are also required to attend all classes and activities.
- (2) You have to inform the instructors beforehand if you will be late or absent from classes. If you know you will be late or absent from the classes on that day, e-mail your instructors or inform them through your classmates.
- (3) You should turn off your mobile phone/cell phone or turn it on silent mode during classes.
- (4) Food is not allowed.
- (5) You should use only Japanese in the classroom.

日本語科目の履修

1. 日本語科目のクラス・レベル・履修資格

- (1) 日本語科目には、J0～J8 までの9つのレベルがあり、履修する日本語クラスはプレイスメントテストの結果（レベル）で決まります。レベルの詳細は下記のとおりです。

クラス レベル	履修資格
J0	日本語学習経験のない学生（あるいは少ない学生）で、日常生活に必要な日本語を学びたい学生。＊このコースは半期完結であるため、継続して日本語を学びたい学生向けではない。
J1・J1S	日本語学習経験のない学生、動詞・形容詞の基本的活用が完全でない学生。ひらがな、カタカナの読み書きができる学生。
J2・J2S	非常に基本的な日本語（動詞や形容詞の基本的活用、語彙500語）を身につけている学生。
J3・J3S	日本語の基礎的事項を習得している学生（1,000語程度の語彙、初級前半の文型）。
J4	初級文型、基本語彙（2,000語程度）を習得している学生。日常生活のほとんどの場面で日本語により対応できる学生。
J5	日常生活の場面では、何の困難や問題もなく日本語で対応できる学生。
J6	一般的な事柄について会話ができ、日本語の雑誌、新聞が辞書を使いながらある程度読める、また、自分の意見を日本語である程度書ける学生。
J7	政治、経済、社会情勢などの高度な内容について会話ができ、日本語の雑誌や新聞がある程度正確に読める、また、それらの内容について自分の意見がある程度正確に書ける学生。
J8	高度の文法、漢字、語彙を習得しており、大学における学習・研究が十分日本語で行える学生。

- (2) 日本語を学ぶだけではなく、日本語を道具として日本の文化や社会を学ぶ下記の科目も開講されています。

科目	履修資格
Japanese Language and Japanese Culture Japanese Language and Japanese Society 漢字	日本語レベルは問いません
日本語演習 1 (日本のアニメ, 歌)	J2, J2S レベル対象
日本語演習 2 (日本の映画, マンガ)	J3, J3S レベル対象
日本語演習 3 (日本の小説, 詩)	J4, J5 レベル対象

2. 日本語プレイスメントテスト

- (1) 日本語科目の履修を希望する学生は、日本語プレイスメントテストを受けなければなりません。プレイスメントテストでは、漢字・語彙・文法の web テストと作文の筆記テストと面接を行います。なお日本語を学習した経験がない、または少ない学生にはひらがな・カタカナのテストを行います。

3. 日本語科目の単位

- (1) 日本語科目の単位は、下記のように与えられます。
個々の科目の単位は、p.31~36 を参照してください。

時間数	単位
日本語科目 (週 1 回 90 分, 1 学期 15 週)	1 単位
日本語科目 (週 3 回 各 90 分, 1 学期 15 週) * J0, J1S, J2S, J3S が該当します	3 単位

4. 日本語科目の履修上の注意

- (1) プレイスメントテストの結果によって指定されたレベル以外の授業を履修することはできません。また聴講すること也不可能です。
- (2) 学期の途中でレベルを変更することはできません。

- (3) J1～J3 と J1S～J3S は、学期終了時の到達目標は同じですが、授業を進める速さが異なります。
- (4) **J1～J3 は、週 5 回の授業が連動して進むため、すべての授業を履修するようにしてください。**
- (5) **J0, J1S～J3S は、週 3 回の授業をすべて履修しなければなりません。**
- (6) J1S～J3S クラスを希望しても、プレイメントテストの結果によっては、J1～J3 クラスを履修することがあります。
- (7) **J4 レベル以上の学生は、プレイメントテストの結果によって決定された授業の中から、希望する授業を履修することができます。**
- (8) J1, J1S の授業は、主に英語によって説明を行います。授業の進行にあわせ、日本語での説明を増やしていきます。
- (9) 総合日本語 4－6 A と B は同時に履修することが可能です。
- (10) 総合日本語 4－6 C と D は同時に履修することが可能です。
- (11) 総合日本語 4－6 A～D は、J4, J5, J6 科目と同時に履修することが可能です。
- (12) 総合日本語 6－8 は科目名のアルファベット (A～D) が同じ場合は同一の授業内容です。1 学期に履修できるのは、A, B, C, D からそれぞれ 1 科目です。

5. 日本語科目の登録方法

- (1) 履修ガイダンスで指示を受けてください。

6. 科目ナンバリング

- (1) 立教大学は、科目ナンバリング制度を導入しています。科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付与し分類することで、学修の段階や順序等を表し、カリキュラムの体系的性を明示する仕組みです。また、成績証明書には修得科目ごとに科目ナンバリングが記載され、体系的に学習した結果が対外的に証明されます。
- (2) 科目ナンバリングは、アルファベット 3 文字と数字 4 文字で構成されています。日本語科目においては、アルファベットと数字の意味は以下のとおりです。

アルファベット (特別外国人学生 対象科目)	数 字			
	1000 番台	100 番台	10 番台	1 番台
JLP	レベル	分野	技能	授業の言語

<1000^{ばんだい}番台>

^{ばんごう} 番号	^{にほんごがくしゅう} 日本語学習のレベル
0000	J0
1000	J1, J2, J3
2000	J4, J5, J6, J7
3000	J8
4000	-
5000	^{だいがくいんせいたいしやう} 大学院生対象科目

<100^{ばんだい}番台>

^{ばんごう} 番号	^{にほんごがくしゅう} 日本語学習の分野
100	^{ぎのうとうごうがた} 4技能統合型
200	^{ぎのうべつ} 技能別
300	^{ないようじゅうし} 内容重視型

<10^{ばんだい}番台>

^{ばんごう} 番号	^{にほんごがくしゅう} 日本語学習の技能
10	^{ぶんぽう} 文法, ^{ぶんぽう} 文法 1
20	^{ぶんぽう} 文法 2
30	^{ちやうかい} 聴解・ ^{かいわ} 会話
40	^{さくぶん} 作文
50	^{どっかい} 読解
60	^{どっかい} 読解・ ^{さくぶん} 作文
70	^{そうごう} 総合

<1^{ばんだい}番台>

^{ばんごう} 番号	^{じゅぎやう} 授業の使用言語
0	^{にほんご} 日本語で ^{おこな} 行う ^{じゅぎやう} 授業
1	^{えいご} 英語で ^{おこな} 行う ^{じゅぎやう} 授業
2	^{えいご} 英語以外の ^{がいこくご} 外国語で ^{おこな} 行う ^{じゅぎやう} 授業
3	その他(^た バイリンガル ^{じゅぎやう} 授業など)

- (3) 各科目の科目ナンバリングは、「日本語科目一覧表」の「科目ナンバリング」欄にしめされています。

***履修登録用の「科目コード」ではないので注意してください。**

Japanese Language Course Registration

1. Japanese language classes/levels/eligibility

- (1) The Japanese language classes are divided into nine levels, from J0 up to J8. **Students are allocated to specific levels based exclusively on the Rikkyo Japanese Language Placement Test.**

Class/Level	Standard of eligibility to attend each level
J0	Designed for students who have no prior learning experience in Japanese and want to learn daily-life Japanese expression and vocabulary.
J1・J1S	Designed for students who have no prior learning experience in Japanese but can read/write Hiragana and Katakana or those who have prior experience with only a limited knowledge (not yet mastered basic conjugations of verbs and adjectives or vocabulary of less than 500 words, etc.).
J2・J2S	Designed for students who have a very basic knowledge of Japanese (basic conjugations of verbs and adjectives and a vocabulary of 500 words).
J3・J3S	Designed for students who have already mastered the first halves of fundamental sentence structure and of fundamental vocabulary (about 1,000 words).
J4	Designed for students who have already mastered fundamental sentence structure, have a fundamental vocabulary (about 2,000 words) and who can deal with everyday situations in Japanese in most cases.
J5	Designed for students who can deal with everyday situations in Japanese without difficulty.
J6	Designed for students with average daily Japanese comprehension. Students can read magazines or newspapers by using a dictionary, and write their opinion in appropriate Japanese.
J7	Designed for students who can express their opinion about politics, economics, international affairs, and so on in high-level Japanese. Students can read magazines or newspapers, and write their opinion in appropriate, sophisticated Japanese.
J8	Designed for students who have mastered a high level of grammar, Kanji and vocabulary and are also able to study or do research in Japanese.

- (2) Besides the classes listed above, students can study Japanese culture and society in English using Japanese as a “tool” through the classes shown below.

Class	Eligibility
Japanese Language and Japanese Culture Japanese Language and Japanese Society Kanji	Japanese language ability is not required
Seminar on Japanese Language and Culture 1 (Animation, Song in Japan)	For J2, J2S students
Seminar on Japanese Language and Culture 2 (Movie, Manga in Japan)	For J3, J3S students
Seminar on Japanese Language and Culture 3 (Novel, Poem in Japan)	For J4, J5 students

2. Japanese language placement test

- (1) **To register for Japanese language courses, you have to take the Japanese Placement Test.** You will take an online test of grammar, vocabulary and kanji, composition and interview. Students with little or no prior learning experience in Japanese will be tested on *Hiragana, Katakana* only.

3. Credit (unit) system of Japanese language course

- (1) The credit system of Japanese language course is as follows.
In regards to credits for each course, refer to page 31 – 36

Hours	Credits
Japanese language course (90 minutes per week for a 15 week semester)	1 credit
Japanese language course (3 classes * 90 minutes per week for a 15 week semester) * J0, J1S, J2S and J3S are included.	3 credits

4. Notes on Japanese language course registration

- (1) **Students cannot take or audit classes in any other level, except the one in which they are placed.**
- (2) The course level cannot be changed in the middle of the semester.

- (3) J1-J3 and J1S-J3S have a different speed of progression. However, those classes have the same attainment targets.
- (4) **J1-J3 students take all 5 classes per week because those classes are coordinated together.**
- (5) **J0 and J1S-J3S students have to take classes 3 times a week.**
- (6) Please understand that you might be placed in J1-J3 according to the placement test results, even if you expected to be placed in J1S-J3S.
- (7) **Students who are J4 and higher take the respective level of courses according to the placement test results.**
- (8) For J1 and J1S, classes are conducted mainly in English. As classes progress, instructions in Japanese will be gradually added.
- (9) Eligible students can take “Integrated Japanese4-6 A” and “Integrated Japanese4-6 B” simultaneously.
- (10) Eligible students can take “Integrated Japanese4-6 C” and “Integrated Japanese4-6 D” simultaneously.
- (11) Eligible students can take “Integrated Japanese4-6 A-D” and J4, J5, J6 courses simultaneously.
- (12) When "Integrated Japanese 6-8" has the same letter (A, B, C or D) in its course title, the course contents are the same. Eligible students can take a maximum of one course from A and one from B in the Spring semester and one from C and one from D in the Fall semester.

5. Japanese language course registration procedure

- (1) The detailed information is given in the Course Registration Orientation.

6. Course numbering system

- (1) Rikkyo University introduced a course numbering system. Course numbering is a system through which the steps or order of learning is made clear, with the organization of the curriculum being shown by means of the alphanumeric classification of courses. Students can use course numbers as a search tool to find the fields they wish to study and thus take courses systematically. In addition, the course numbers of the courses a student has learned are stated on the academic transcript to provide external proof of systematic learning.
- (2) Course numbers are composed of three letters of the alphabet and four numbers. For Japanese language courses, the three letters and the four numbers indicate the meanings as follows.

3 alphabetical prefix	Numbers			
	1000s	100s	10s	1s
JLP (For Special International Students)	Level	Field	Skill	Language of instruction

<1000s column>

Numbers	Levels
0000	J0
1000	J1, J2, J3
2000	J4, J5, J6, J7
3000	J8
4000	-
5000	Graduate students

<100s column>

Numbers	Fields
100	4 skills integrated
200	Skill based
300	Content based

<10s column>

Numbers	Japanese language learning skills
10	Grammar, Grammar 1
20	Grammar 2
30	Listening comprehension and conversation
40	Composition
50	Reading comprehension
60	Reading comprehension and composition
70	4 skills integrated

<1s column>

Numbers	Language of instruction
0	Japanese
1	English
2	Foreign languages other than English
3	Others (Bilingual, etc.)

- (3) Course numbering to each course is shown in the section “Course Numbering” on the “Japanese Language Course List”.

***Please note that this course numbering system is not the code for registration.**

日本語科目の成績評価

1. 日本語科目の成績評価

- (1) 日本語科目の評価は、出席、授業中に行うクイズ・テスト、授業への参加度、宿題等によって決まります。春学期末・秋学期末に行われる定期試験期間中に試験は実施しません。個々の科目の成績評価方法は講義内容を参照してください。

- (2) 成績評価は下記のとおりです。

* 単位を修得した科目の評価を取り消すことはできません。

<成績の評価>

評価		評価基準	成績証明書 の表示
合格	S 100点～90点	当該科目の目標をほぼ完全に達成していると認められる	S
	A 89点～80点	当該科目の目標を十分に達成していると認められる	A
	B 79点～70点	当該科目の目標の基幹部分は達成していると認められる	B
	C 69点～60点	当該科目の目標のうち最低限は達成していると認められる	C
不合格	D 59点～0点	当該科目の目標に及ばない	表示 されない
	欠席（欠）	試験未受験等により評価できないもの	

成績証明書は対外的に発行されるものです。履修した科目のうち、単位を修得した科目の成績評価結果のみが記載されます。

<成績の発表・成績証明書の発行について>

成績の発表	成績証明書の発行		
在学中	在学中	修了時	修了後
3月中旬／9月上旬に https://r.rikkyo.ac.jp/ （履修登録システム／ 成績参照システム）で 確認してください。	希望者は教務事務 センターに申し込 んでください （有料）。 ※ 日本語、英語と も翌日発行。	4月上旬／9月 月上旬に日本語・ 英語各1通を、原則 として、協定校の 担当者に送付しま す（無料）。	希望者は教務 事務センターに 申し込んでくだ さい（有料）。

Grading for Japanese Language Course

1. Grading for Japanese language course

- (1) Your performance in the Japanese language course is graded on attendance, participation, in-class tests, quizzes, assignments, etc. Examinations are not given during the regular exam period at the end of each semester. In regards to evaluation for each course, refer to each syllabus.

- (2) The evaluation criteria are shown below.

* Your grade for a course of which you have taken credits may not be cancelled.

<Grade / Evaluation criteria>

Grade		Evaluation Criteria	Indication in transcript (certificate)
Pass	S (90-100 pt.)	Achieves all the required goals of the course to an excellent standard	S
	A (80-89 pt.)	Achieves all the required goals of the course satisfactorily	A
	B (70-79 pt.)	Masters the key elements of the required goals for the course	B
	C (60-69 pt.)	Achieves a bare minimum of the required goals for the subject	C
Fail	D (0-59 pt.)	Does not achieve the required goals for the subject	Not shown
	Absent	Evaluation not possible because of absence from the exam, etc.	

A transcript is issued externally. Failed subjects are not shown on the transcript.

<Announcement of grades / Issuance of transcript (certificate)>

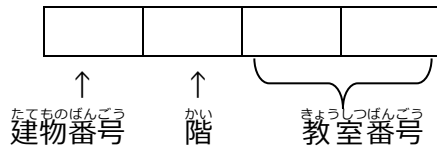
Announcement of grades	Current students	Announced on the grade query system in mid-March / early September https://r.rikkyo.ac.jp/
Issuance of transcript (certificate)	Current students	Apply at the Academic Affairs Office. (Fee required) ※ issued on the next day for transcript both in Japanese and English
	Upon completion of study at Rikkyo	Generally sent to a contact person of your home university in early April / early September. (one each in Japanese and English) (Free)
	After leaving Rikkyo or Former students	Apply at the Academic Affairs Office (Fee required)

そ の 他

1. 教室番号の見方

- (1) 教室番号は、4桁の数字であらわします。それぞれの数字の意味は下記のとおりです。

〈池袋キャンパス〉



例) 4411 = 4号館 4階 11号教室

9B01 = 9号館 B階 (地階) 1号教室

* 3番目の数字が『5』の場合、別館を指します。

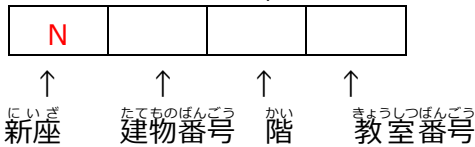
例) 4152 = 4号館別館1階2号教室

建物番号 早見表

1 = 本館	C = 13号館
4 = 4号館	D = 14号館
9 = 9号館	M = マキムホール
X = 10号館	(15号館)
A = 11号館	T = タッカーホール
B = 12号館	

〈新座キャンパス〉

最初が『N』の場合、新座キャンパスの教室です。



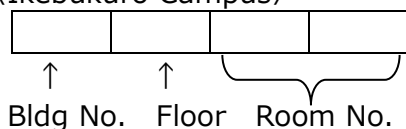
例) N849 = 新座キャンパス 8号館 4階 9号教室

Miscellaneous

1. Classroom labels

- (1) Classrooms numbers consist of 4 digits. The meaning of the digits is explained below.

〈Ikebukuro Campus〉



e.g.) 4411 = Building No.4, 4th floor, classroom 11

9B01 = Building No.9, basement, classroom 1

* When the 3rd digit is a “5”, this indicates the Annex of the building indicated by the first digit.

e.g.) 4152 = Building No.4 Annex, 1st floor, classroom 2

〈Niiza Campus〉

* When the 1st digit is an “N”, the classroom is on the Niiza Campus.



e.g.) N849 = Niiza Campus, Building No.8, 4th floor, classroom 9

Building No. indicators

1 = Main building

4 = Building No.4

9 = Building No.9

X = Building No.10

A = Building No.11

B = Building No.12

C = Building No.13

D = Building No.14

M = McKim Hall

(Build.No.15)

2. 大規模地震の警戒宣言が発令された場合の措置

本学は、大規模な地震の発生が予想され、大規模地震対策特別措置法に基づき地震防災対策強化地域判定会(※)の招集が確認された場合には授業を休講とし、次の措置をとります。

- (1) 在宅中および通学途中の者は、登校を中止してください。
- (2) 在学中の者は、大学からの連絡および指示に従ってください。
- (3) 警戒宣言解除後の授業の再開については、以下のとおりとします。
 - ① 警戒宣言が午前5時までに解除された場合は、平常どおり授業を行います。
 - ② 警戒宣言が午前9時までに解除された場合は、午前中の授業を休講とし、午後からの授業を行います。
 - ③ 警戒宣言が午前9時までに解除されない場合は、当日の授業を全日休講とします。なお、全日休講の場合は、大学の諸業務（窓口業務を含む）を行いません。

※ 地震防災対策強化地域判定会

大規模地震対策特別措置法第3条1項に規定する地震防災対策強化地域に係る大規模な地震の発生のおそれに関する判定を行うために、気象庁長官の要請によって招集される判定会をいう。

3. 台風の接近が予想される場合の措置

台風の接近等により、授業を平常どおり行うことができないと判断された場合は、休講などの特別措置をとります。特別措置の内容については、掲示、ホームページまたは電話で確認してください。

立教大学ホームページ

<http://www.rikkyo.ac.jp/>

電話による問合せ先

池袋キャンパス教務部

TEL 03-3985-2220

新座キャンパス事務部

TEL 048-471-6942

独立研究科事務室

TEL 03-3985-3321

- * 試験期間についても前記と同様の措置をとることがあります。
- * 大学の窓口業務、諸施設の利用については、ホームページおよび掲示でお知らせします。

2. Emergency guidelines for a Major Earthquake Warning Alert

In the case that the National Earthquake Assessment Committee for Areas under Intensified Measures against Earthquake Disaster* has been convened in accordance with the Special Measures Law on Earthquake Disaster Prevention, all classes are cancelled and the following steps should be taken.

- (1) Please stay at home. If en route to the University do not come to the University.
- (2) If you are at the University, comply with communications and instructions from the University.
- (3) The procedure for resuming classes once the warning alert has been cancelled is put into effect as follows:
 - ① If the warning alert is cancelled before 5:00 am, classes will be conducted as usual.
 - ② If the warning alert is cancelled before 9:00 am, morning classes are cancelled and normal classes will begin in the afternoon.
 - ③ If the warning alert is not cancelled before 9:00 am, classes for the entire day are cancelled. In this event, no University business (including administrative business) will be conducted.

*The Earthquake Assessment Committee for Areas under Intensified Measures against Earthquake Disaster: This is an assessment committee, convened at the request of the Director – General of the Meteorological Agency, that makes assessments regarding the risk of a major earthquake in areas designated as being subject to intensified measures against earthquake disaster under Article 3, Clause 1 of the Special Measures Law on Earthquake Disaster Prevention.

3. Emergency guidelines for Approaching Typhoon warning

Classes may be cancelled due to some special conditions such as an approaching typhoon. For details of the special measures, check the University website or notices, or phone the office.

Rikkyo University website

<http://english.rikkyo.ac.jp/>

Phone contact information

Academic Affairs Office

Ph.:03-3985-2220

Niiza Campus Office

Ph.:048-471-6942

Office for the Independent Graduate Schools

Ph.:03-3985-3321

- These measures may also be taken during exams.
- Information on the University's operations and the availability of its facilities is posted on the website and on notice boards.